

【高等学校用】

令和7年度学校評価		計画	達成度(評価) A: 十分達成できている C: やや不十分である B: おおむね達成できている D: 不十分である	
学校名		佐賀県立伊万里高等学校		
1 前年度 評価結果の概要	職員は生徒の学習状況や成績、進路希望、学校生活における心身の健康状態等について、それらの成果及び課題をよく把握しようと努めている。さらに、課題の克服や改善に向け、適切な目標を立て、共通理解のもとで具体的な指導や取り組みを展開している。			
2 SAGAスクール・ミッション 学校教育目標		Your Ambition Our Future ～学びの先に広がる 無限の可能性～ ○普通科改革を推進し、高い志を持つ生徒を県内外から呼び込み、学校の新たな魅力づくりに挑戦する。 ○教科学習に加え、地域との連携のもと多様な学びに挑戦することで、地域の期待に応え、社会に貢献できる有為な人材を育成する。		

3	スクール・ポリシー	アドミッション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	グラデュエーション・ポリシー	4	本年度の 重点目標	「普通科改革の取り組みを進め、 地域の期待に応える普通科進学校を目指す」
		ア 理想を高く掲げ、上級学校への進学を目指して自ら学ぶ意欲をもつ生徒を求める。 イ 心身ともにたくましく、文化の創造や産業の振興など、社会や地域に貢献する気概と情熱に満ちた生徒を求める。 ウ 学校の核として積極的に活動することができ、部活動等に積極的に取り組もうとする意欲と能力のある生徒を求める。	ア 魅力ある授業を実践し、教科への興味関心を高め自ら学ぶ姿勢を養成する。 イ 主体的に学ぶ態度や思考力・表現力・判断力の育成を重視する。 ウ 総合的な探究の時間、ホームルーム活動を通して、生徒自身が主体的に考え、行動し、将来望ましい自己実現ができるようにキャリア教育を推進する。 エ すべての教育活動を通して、人権・同和教育に対する正しい知識や人権感覚を身につけ、あらゆる差別・いじめが起こらないように積極的に取り組む。	ア 自然を尊び郷土を愛し、人としての優しさに満ちた豊かな人間性と、自らの生き方に向けてよりよく生きる自主自律の精神を育成する。（自律） イ 個性と創造性を伸ばす個に応じた教育を進めるとともに、高い志を持ち、自ら判断する力、自ら学ぶ力と学んだことをもとに発信する力を育成する。（創造） ウ 互いの存在を認め合い敬意をもって接し、皆が安心して過ごせるような配慮や気づきのできる人材を育成する。（友愛）			・「MIRAI進学科」における校内体制の確立 新学科の資格を確立すると同時に、3か年の教育活動計画をしっかりと整える。 ・学力向上と進路保障 進路目標実現に向けて基礎学力の定着と併せ、思考力、判断力、表現力等を身につけさせ、生徒一人ひとりの学力を伸ばす。 ・自己有用感の育成 集団の中で様々な体験を積ませることにより、自分がどれだけ大切な存在であるか自分自身で認識させ、互いに認め合うことのできる生徒を育成する。 ・地域連携の強化と選ばれる学校づくり 総合的な探究の時間等を通じて、地域社会にかかわる様々な活動に取り組むことで、地域社会との連携を深め、地域から信頼され選ばれる学校づくりをする。

5 重点取組内容・成果指標				中間評価		最終評価				主な担当者	
(1)共通評価項目											
重点取組				具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目		取組内容	成果指標（数値目標）		進捗度（評価）	進捗状況と見通し	達成度（評価）	実施結果	評価		意見や提言
●学力の向上	教務	○classiの学習動画等を用いた学習の効率化と自動化	○classi利用満足度調査で「自学学習機能」利用率80%以上	・各教科と学年教務を中心に、classiの「学習トレーニング」の配信等を行い、取組状況の把握や模試結果との検証を行う。	・					教務	
	教務	○新学習指導要領に沿った学習指導・評価を検証し、本校の実情に合わせた改善を図る ○過平均家庭学習時間1.2年120分、3年：240分以上の学習時間確保	○家庭学習時間調査（6月・11月）で左記の家庭学習時間達成割合50%以上	・各教科で評価方法の改善を図り、生徒がスモールステップで目標を立てて学習することができるよう、各教科において単元テストの実施やパフォーマンステストの実施などを行う仕組み作りをする。						教務	
	各学年主任	○1年：家庭学習の定着、進路意識の育成・早期確立 ○2年：授業での習得を目指し、そのための家庭における予習・復習の大切さを理解させ、積極的な学習態度を育成する 3年：進路実現に向け、見通しを立てて主体的に粘り強く学習する生徒の育成	○1年：予習復習定着率100%を目指す。 ○2年：生徒の学習習慣の確立（学年＋1時間の家庭学習時間の確保） ○3年：国公立合格50名以上、難関大学合格5名以上、佐賀大学合格10名以上、福岡大学合格30名以上	・1年：学習時間調査の入力、大学訪問や大学教授等の講義で進路意識を高める。 ・2年：生徒の進路希望に応じた長期的・計画的な指導の工夫と学習記録の積極的な活用。 ・3年：進路別集会の実施、担任、学年主任との二者面談を通して目標、今後の見通し、学力向上の方策を確認する。難関大志望者向けの特課の実施。						各学年主任	
●心の教育	生徒指導	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○学校評価アンケートで「学校生活に満足している」生徒の割合が90%以上	・生徒会と連携し学校行事の充実を図り、生徒の社会性や倫理観の育成につなげる。 ・全校集会や各学期の終業式等を利用し、生徒が自身の行動についてフィードバックできる機会を設ける。	・					生徒支援 （生徒指導）	
	教相・生指	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○学校評価アンケートで「いじめを許さない教育が行われているか」という質問に対して、「そう思う」「だいたいそう思う」の割合が80%以上 ○いじめ解消率80%以上	・生徒のこまめな実態把握のため、年3回、学校生活アンケートを実施する。 ・面談週間などを利用し、生徒の悩みの早期発見に努める。 ・学年と定期的な情報交換を行う（週1回）	・					生徒支援 （教相・生指）	
●健康・体づくり	保健厚生	●「望ましい生活習慣の形成」 ●「望ましい食習慣と、食の自己管理能力の育成」	○スマートフォンの使用時間について「自分の生活や学習にとって良い使用時間だと思う」と回答した生徒70%以上。 ○睡眠時間について「健康に良い睡眠がとれている」と回答した生徒70%以上。 ●「健康に良い食事をしている」生徒80%以上	・スマホ利用時間の自己管理について、全校集会、学年集会、HRIにおいて、保健主事、学年主任、正副担任による講話を定期的に行う。 ・保健だより等の発行により、スマホ利用時間、睡眠時間、健康的な食事、など、生活のリズムの大切さについて理解を深めさせる。	・					生徒支援 （保健厚生）	
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	教頭	●業務効率化の推進と、時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上。	・定時退勤日、および学校閉庁日の設定 ・部活動休業日の設定 ・休暇（年次休暇等）取得促進の呼びかけ	・					教頭	
●特別支援教育の充実	教育相談	○生徒同士の好ましい人間関係を育てる。 ○自己理解を深めさせ人格成長を図る。 ○生徒一人ひとりの教育上の課題について職員間の共通理解を図り、支援が必要な場合はあらゆる機会をとらえ実践する。	○スクールカウンセラー面談希望者（生徒・保護者）の面談実施率を80%以上にする ○個別支援計画が必要な生徒に対し、支援計画を100%作成する	・スクールカウンセラー来校スケジュールを生徒、保護者、職員にこまめに周知する。 ・担当職員が学年の担任会に参加することで、支援を要する生徒の情報を共有するとともに、指導について共通理解を深める。	・					生徒支援 （教育相談）	
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目										主な担当者	
重点取組				具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目		取組内容	成果指標（数値目標）		進捗度（評価）	進捗状況と見通し	達成度（評価）	実施結果	評価		意見や提言
★唯一無二の誇り高き学校づくり	探究研修	★「MIRAI進学科」における校内体制の確立 新学科の骨格を確立すると同時に、3か年の教育活動計画をしっかりと整える。	○1年生の円滑な学科選択及び文理選択をとおして2年次のクラス編成を完了する ○学科選択や文理選択について「良い選択ができたと思う」と答えた生徒80%以上 ○MIRAI進学科の教科科目や探究について、内容及び計画のブラッシュアップを進める	・1年生の学科選択及び文理選択に資するため、大学見学、外部との連携、探究活動等とおしたキャリア教育を充実させる。 ・進路選択意識の向上のため、適切な時期や回数の希望調査、及び面談を実施する。 ・教科、教務部、探究研修係、学年の連携。	・						総務 （探究・研修）
	進路	◎学力向上と進路保障 進路目標実現に向けて基礎学力の定着と併せ、思考力、判断力、表現力等を身につけさせ、生徒一人ひとりの学力を伸ばす。	○進研模試の全国偏差値50以上の割合を、1年生25%以上、2年生30%以上、3年生20%以上を目標とし、最終的に、国公立合格在籍数30%以上を目指す ○教員の研修参加延べ20人以上、学力分析会を各学年1回以上、生徒向けの進路講演2回以上	・教職員の研修への参加を呼びかけ、教員の指導力向上を図る。 ・模試の分析会を実施し、学力向上のための指導法の改善や問題点を共通理解する。 ・生徒向けの進路講演会を年2回以上実施することで進路意識を高める。						進路	
	生徒会	★自己有用感の育成 集団の中で様々な体験を積ませることにより、自分がどれだけ大切な存在であるか自分自身で認識させ、互いに認め合うことのできる生徒を育成する。	○各学校行事を通して、集団の中で自己の役割を果たした生徒の割合が70%以上。 ○学校祭の満足度が80%以上。	・各種行事で、生徒一人一人に役割を与える。 ・リーダーや指導者を育成し、関わる全ての人が楽しめる仕組みをつくる。 ・生徒が主体となる学校祭を運営し、自ら課題や問題を解決しながら運営できる仕組みをつくる。	・						生徒会
	探究研修	★◎地域連携の強化と選ばれる学校づくり 総合的な探究の時間等を通じて、地域社会にかかわる様々な活動に取り組むことで、地域社会との連携を深め、地域から信頼され選ばれる学校づくりをする。	●★伊万里高校を中学生に勧められる生徒の割合……（80）%以上 教職員の割合……（80）%以上 ●★県外からの入学者数（10）人以上 ○学校紹介動画の再生回数3000回以上 YouTubeチャンネルの登録者数300人以上	・地域・企業等と協働した学校運営を行う。 ・3年間を見通した体系的な計画を基に総合的な探究の時間を実践する。 ・SNS等を活用し、学校の魅力を積極的に発信する。							総務 （探究・研修）

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり

6 総合評価・次年度への展望	：
	：